

盲ろう者の理解促進のための講演会

盲ろう者と ひらく未来



くらしを知り、声を聴き、ともに考える集い

盲ろう者とは、目(視覚)と耳(聴覚)の両方に障害を併せ持つ人のことです

日時 2026年2月8日(日) 受付12:00
開始13:00 終了16:00

会場 神奈川県庁本庁舎 3階 大会議場

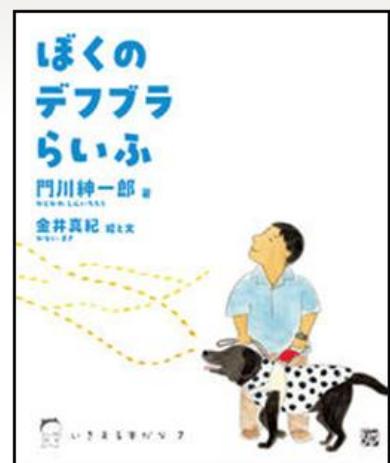
第一部 講演会 門川紳一郎氏

「盲ろう者について知ろう

ぼくの歩んできた道『ぼくのデフブラらいふ』から」

第二部 座談会 ゆりの会×門川氏

「盲ろう者とともに生きる神奈川のこれから」



参加費無料・申込不要 全体手話通訳・要約筆記あり 定員120名
盲ろうの方は盲ろう者通訳・介助員を申請してください。

主催:神奈川盲ろう者ゆりの会

講師プロフィール

門川紳一郎(かどかわ しんいちろう)氏

先天性の弱視、難聴の重複障害者。現在は全盲ろう。1965年大阪生まれ。2021年に東京へ転居。社会福祉法人全国盲ろう者協会に勤務。2025年5月に自伝『ぼくのデフプラらいふ』を出版。(発行:ころから 價格2000円+税 ISBN 978-4-907239-77-0)

盲導犬ユーザーでもある。

神奈川盲ろう者ゆりの会 とは？

神奈川県内の盲ろう当事者の唯一の団体。平成11年5月16日設立。神奈川県在住または在勤・在学する盲ろう者とその家族、支援者が、相互の交流を通して、盲ろう者福祉を向上し、盲ろう者の自立と社会参加を促進することを目的とする会です。会員、募集中！

最新情報はホームページやフェイスブックでどうぞ！

ホームページ <https://kanagawa-db-yurinokai.com>

フェイスブック <https://www.facebook.com/dbyurinokai>

Eメール mo-ro-sha@kanagawa-db-yurinokai.com

* 寄付のお振り込み先 郵便振替 00250-8-11251

ゆうちょ銀行 店名〇二九 番号 0011251 神奈川盲ろう者ゆりの会



会場について



神奈川県ウェブサイトより

神奈川県庁本庁舎、愛称「キングの塔」は国指定重要文化財です。近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライトの手によるもので、茶褐色のタイルと大理石を用い、幾何学的な装飾模様が特色です。正面玄関の車寄せの柱の装飾はアール・デコ風。玄関ホールには宇治平等院に似た唐草文様の宝相華が施され、大会議場には寺院建築や書院造りに見られる格式の高い折上げ格天井が使われています。

会場アクセス

〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1

電車

JR京浜東北線、根岸線／横浜市営地下鉄

「関内駅」から徒歩約10分

みなとみらい線「日本大通り駅」県庁口出口からすぐ

バス

「本町1丁目」又は「日本大通り駅県庁前」下車

(市営バス26系統のみ「横浜税関前」)下車

横浜駅東口バスターミナルより約15分

桜木町駅前バスターミナルより約5分

※車椅子をご利用の場合 出入り口の対応のため、

2月5日までに事前にご連絡ください。

講演会に関する問い合わせ先

mo-ro-sha@kanagawa-db-yurinokai.com

※定員を超えた場合は立ち見となります。状況によっては安全上の理由で入場をお断りする場合があります



神奈川県ウェブサイトより